

日本データマネジメント・コンソーシアム [JDMC] のご紹介



日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]

1. 団体概要



正式名称	一般社団法人 日本データマネジメント・コンソーシアム [Japan Data Management Consortium : JDMC]
設立	2011年4月18日（月）
会長	栗島 聡（エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 相談役）
設立趣旨	情報システムがビジネス戦略の策定・実行に不可欠となっている中、データマネジメントの問題により、情報システムが経営の羅針盤として機能していないという状況が多く見られる。本コンソーシアムは、データマネジメントの重要性の普及展開と、実践的なデータマネジメント手法の確立を通じ、日本企業・組織の国際競争力強化に寄与する。
活動基本ポリシー	1. 企業情報システムのためのコンソーシアムの枠を超え、社会的な影響力がある斬新な活動を追求する 2. コンソーシアムに参画する企業個別の利害を超え、データマネジメントの発展に向けてオープンな活動を志向する 3. 日本国内の動きにこだわることなく、海外の情報／動向に目を向ける 4. 広くデータマネジメントの実践に直結する製品やサービス、優れた取り組み事例を発掘、情報発信する 5. 活動はコンソーシアム内部に閉じるのではなく、内外の有識者や有力団体との連携を図る
会員企業	設立から14年目にして、<u>330社を超える日本の代表的企業が参加</u>

4. JDMC活動内容



- ① 研究会活動／コミュニティ活動
- ② カンファレンス
- ③ データマネジメント表彰
- ④ 情報発信

① 研究会活動／コミュニティ活動



◎ FY24 研究会

テーマ#	テーマ名
テーマ1	AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会
テーマ2	データマネジメントの価値研究会
テーマ3	MDMとデータガバナンス研究会
テーマ4	データドリブン経営研究会 ～分散型組織のアプローチ
テーマ5	生成AIによるデータ管理研究会
テーマ6	非財務（ESG）データのマネジメント（サステナビリティデータ活用）研究会
テーマ7	ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会

- 延べ200名以上の会員が参画
- ユーザーやベンダーといった企業の枠を超えた「ガチ」の研究会
- Withコロナに合わせたオンライン開催で、特色のある活動を展開

① 研究会活動／コミュニティ活動



◎ FY24 コミュニティ活動

①	エンジニアの会
②	DM実践勉強会
③	データマネジメント座談会
④	マーケティングにおけるデータ活用
⑤	IOT・AI活用
⑥	MDM白熱教室（少人数・招待制）
⑦	こちらデータマネジメント室（少人数・招待制）
⑧	オープンデータ活用

- 年度の途中からでも有志で柔軟に企画を立ち上げることが可能
- 特定の目的があって参加者が集まれば、アウトプットの有無や開催回数等の形式には一切こだわらない
- 「参加者が相互に刺激し合いながらデータ活用などのイメージを広げる」活動
- Slackを用いたコミュニティ広場での意見交換（登録500名）

② カンファレンス



テーマ： **データマネジメント2025**
～「Data as a Product」の時代へ～

日時： **2025年3月7日8:30～18:30**

後援：

- 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)
- 公益社団法人 企業情報化協会
- 一般社団法人 オルタナティブデータ推進協議会
- 一般社団法人 データマネジメント協会 日本支部(DAMA Japan)
- CIO賢人倶楽部
- 特定非営利活動法人 CIO Lounge
- 一般社団法人リテールAI研究会
- 一般社団法人情報サービス産業協会
- 一般社団法人データ社会推進協議会(DSA)
- 一般社団法人ソフトウェア協会
- 特定非営利活動法人ビジネスシステムイニシアティブ協会
- 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム
- 一般社団法人データサイエンティスト協会



- **設立初年度から13回目**を数えるアニュアル・カンファレンス。
- “基調講演”、“ユーザー講演”、“ベンダー講演”、“アーリーバードセッション”の4つのセッション。
- **登録者数は、3,000名以上**、毎年参加者が増加している。

③ データマネジメント賞



2014年の設立依頼、**77の企業・団体**が受賞。
各社の広報部が社内記事にするために取材にくるほどの盛況ぶり。
「**地道な取り組みの継続が評価されるのはうれしい**」の声が多数。

③ データマネジメント賞



2024年受賞企業

賞名	受賞企業名
大賞	日本郵船株式会社
データ統合賞	富士通フロンテック株式会社
データ活用賞	株式会社セブン銀行
データ活用賞	社会福祉法人善光会・株式会社善光総合研究所
先端技術活用賞	ジオテクノロジーズ株式会社
特別賞	北良株式会社

2023年受賞企業

受賞企業名	受賞企業名
大賞	日本製鉄株式会社
データガバナンス賞	HILLTOP株式会社
モデリング賞	PFUテクノワイズ株式会社
データ人材賞	旭化成株式会社
アナリティクス賞	イーデザイン損害保険株式会社
アナリティクス賞	株式会社MonotaRO

※2014年からの受賞企業一覧 https://japan-dmc.org/?page_id=15253

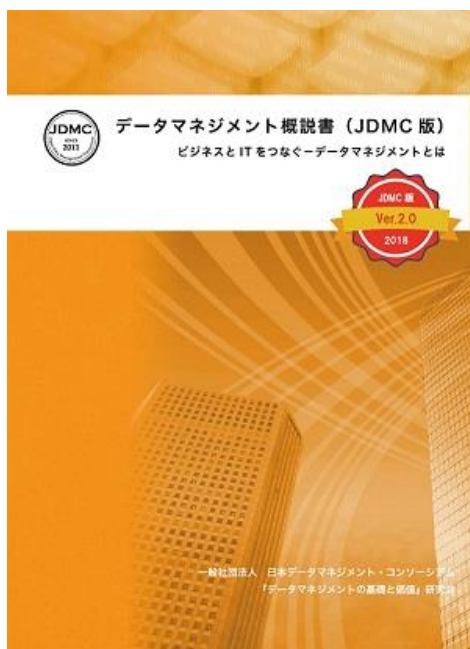
⑤ 情報発信



◆出版：データマネジメント概説 + ケーススタディ 3部シリーズを出版 (Amazon kindle版、Amazonオンデマンド・楽天ブックス・三省堂書店の各オンデマンド出版)

企業はデータマネジメントの実践・定着化にどう取り組めば良いのか？

– JDMC『データマネジメントの基礎と価値』研究会メンバーの経験・知見が結集された書籍 3 部シリーズ
具体的にイメージが理解出来るケーススタディも好評です。



データマネジメント概説書
1080円（税込）



ケーススタディ ボトムアップ編
Kindle購入価格：
400円（税込）



ケーススタディ トップダウン編
Kindle購入価格：
400円（税込）

⑤ 情報発信



◆ 会員リレーコラムの掲載

- JDMC会員がそれぞれの思いを寄せ集めたリレー形式の「会員コラム」も
累計120回を数え、JDMCホームページとメルマガの定番コンテンツとして定着。

◆ 有識者による座談会の実施

◆ 第5回 2025年1月掲載
「データ活用における現場を巻き込む実践知！リレーコラムの著者にインタビュー「データマネジメントの価値研究会」」

◆ 第4回 2022年6月掲載
「データマネジメント受賞企業のヒーローインタビュー」

今後ともデータマネジメントの啓発・普及・定着化のための情報発信を行います

End of Presentation